



モルックをご存知ですか？フィンランド生まれのシンプルな木製ゲームで、一度体験すればその奥深さと楽しさに驚くはず。ルールは簡単。木製の棒「モルック」を投げ、数字の書かれたピン「スキットル」を倒します。倒れたピンが1本ならその数字が得点、複数なら本数が得点。先にぴったり50点に到達した人が勝者です。ボーリングのようと思われるかもしれませんが、モルックは一味も二味も違います。

モルックサークルはいかがですか？
心と体をリフレッシュする、予測不能な楽しさ

まるですごろく！？ 予測不能な駆け引きが面白い

例えば、モルックはただピンを倒せばいいわけではありません。ぴったり50点を目指すのですが、超えると25点に戻る「天国から地獄」ルールも。「え、まじで！？今までの努力はなんだったんだ！」と叫びたくなるような人生の悲哀があります。

戦略とドラマが詰まった、奥深いゲーム性

さらに、倒れたピンはそのまま置かれるのが特徴。次に投げる人は、ピンの散らばりを見て「どのピンを狙おう？」「どう投げたら一番いい？」と毎回頭を使います。時には次の人が投げにくくなるような意地悪で、まさに賢い「邪魔投げ」だってアリ。刻々と変わる状況に合わせ、作戦を立てたり、思いがけないラッキーで逆転したり。頭をフル回転させる戦略と、ナイスショットで「よっしゃー！」、ミスで「あちゃー！」と叫ぶじゃう一投ごとのドラマが醍醐味です。

たった一本の木を投げるだけなので、初心者でもすぐにコツを掴め、運動が苦手な方も大丈夫。「投げる」「狙う」シンプルな行動なので、コミュニケーションが苦手な人でも自然と周りと一緒にになれるので問題ありません。経験者と初心者関係なく、誰もが楽しめるのがモルックの大きな魅力と言えるでしょう。

カウンセリングセンターでモルックサークルに参加しよう！

カウンセリングセンター京田辺校地ではモルックサークル（通称モルサー）を立ち上げています。日程は未定ですが、秋学期も実施します。経験不要、運動が苦手な方も大歓迎ですので、興味ある方はポスターをチェックしたり、カウンセリングセンターにお声がけください。

（文責：カウンセラーN）

